

令和8年度 岩手県立盛岡北高等学校経営計画

校長：藤田 知彦

1 校訓・教育目標	校 訓：師弟和熟 教師と生徒、生徒同士、教師同士のコミュニケーションが十分に確立された「教師と生徒がともに学び、切磋琢磨する学校」をつくりあげることを目指す				
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グ ラデ ュエーション・ポリシー)	未来を描く力、未来を語る力、未来を創る力 グローバル社会において、望ましい未来に向けて目標を設定し、多様な他者と協働しながら行動できる人間を育成する			
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	ア 北高型アクティブ・ラーニングの推進～「教わる」から「学ぶ」へ～ 課題解決型学習・共感型学習・教科横断型学習 イ カシオペアタイム（総合的な探究の時間）の充実～課題の発見・探究・解決～ プロジェクト学習・協働的学習・探究学習			
	(3) 入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	ア 本校の教育方針に共感する人 イ 自己の成長と社会への貢献を志す人 ウ 多様な人々と協働しながら、主体的に学び続ける意欲がある人 エ 基礎的な知識・技能と、思考力・判断力・表現力を身に付けている人			
3 魅力化協働パートナー	岩手県・滝沢市・盛岡市・岩手県立大学・岩手大学 等				
4 目 指 す 学 校 像	(1) 今年度の重点目標	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th style="width:50%;">重点目標</th> <th style="width:50%;">達成指標</th> </tr> </table>	重点目標	達成指標	
		重点目標	達成指標		
		ア 学力向上に向けた学習指導の充実と自主的な学習習慣の確立	・「学校は、『分かる授業』を工夫している」と答えた生徒の割合【85%以上】		
		イ 豊かな感性や人間性、社会性を育む特別活動の充実	・「学校では、生徒会活動、部活動や学校行事が活発に行われている」と答えた生徒の割合【85%以上】		
		ウ 社会で活躍できる資質・能力の育成を図るキャリア教育の推進	・「自分は、学校生活を通して、社会で生きていくために必要な力が身に付いていると感じる」と答えた生徒の割合【85%以上】		
		エ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対応に当たる	・「学校は、いじめの未然防止や早期発見に努めている」と答えた生徒の割合【85%以上】		
		オ 生徒が生き生きと学べる学校づくりと不適切な指導を決して許さない職場風土の醸成	・「学校は、生徒が相談しやすい環境を整えている」と答えた生徒の割合【85%以上】		
	カ 家庭や地域との連携・協働による教育活動の推進	・「学校は、PTA や地域機関と連携しながら教育活動を進めている」と答えた保護者の割合【80%以上】			
	(2) 取組方針	ア 学力向上に向けた学習指導の充実と自主的な学習習慣の確立 (ア) 校内研修の実施と授業アンケートの活用による授業改善の推進 (イ) ICT を活用した個別最適な学びの支援と情報活用能力の育成			
		イ 豊かな感性や人間性、社会性を育む特別活動の充実 (ア) 生徒会執行部・各種委員会を中心とした諸行事の企画・運営への支援 (イ) 社会貢献力の育成を図るボランティア活動等への参加奨励			
ウ 社会で活躍できる資質・能力の育成を図るキャリア教育の推進 (ア) 学年や教科と連携した進路指導体制の確立 (イ) 適切な情報提供や面談による主体的な進路選択の支援					
エ 実効的な「学校いじめ対策組織」の構築と組織的にいじめ未然防止・対応への取組 (ア) アンケートや面談を活用したいじめや問題行動等の未然防止と適切な対応 (イ) アンケートやカウンセリングなど教育相談を活用した人間関係構築の支援					
オ 生徒が生き生きと学べる学校づくりと不適切指導の防止 (ア) 生徒の悩みや不安についての情報共有と適切な対応 (イ) 教職員一人ひとりが自分事として捉える効果的な研修の実施					
カ 家庭や地域との連携・協働による教育活動の推進 (ア) 生徒の学びや成長を支援する PTA 活動の充 (イ) 家庭や地域への積極的な情報発信と外部機関等との連携					
5 業務量管理・健康確保措置	月当たり時間外在校等時間を前年度実績より減少させ、ワーク・ライフ・バランスの向上によるウェルビーイングの確保を目指す。				